

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

社会の持続的発展を実現する新品種導出技術の確立

3. 研究開発課題名

分子で実現する迅速育種技術

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

萩原 伸也(理化学研究所環境資源科学研究センター チームリーダー)

5. 評価結果

評点: A (優れている)

総評:

本研究開発課題は、変異導入や交配と選別の繰り返しを基本とする、植物育種における課題(世代時間の長さ、交配の手間、効率の悪さ等)を人工分子を用いることにより、短時間で、手間もかからず、狙った形質を誘導可能な迅速育種技術の開発を目指すものである。

探索研究期間では、花成制御、交配の簡易化、DNA 修復制御など、育種上の課題を解決する化合物の評価系確立やリード化合物を提示したことに加えて、カルスから再分化を促進する可能性がある化合物を新たに提示するなど、様々な成果が得られたことを評価する。

今後は、分子構造の最適化や植物種間での作用の普遍性等の確認を進めることにより、社会実装に向けて、研究開発が発展することを期待する。

以上